

第6学年 社会科「今に伝わる室町文化」

動画作りの活動を通して、歴史をより身近に感じることができる授業

東和小学校 内谷 昌史

I 単元構成の工夫

本単元では室町時代の人物の動きや代表的な建築物等に着眼して文化の特色を考えたり、表現したりする活動を通して、我が国の伝統や文化と今日の私たちの生活との関わりを考えようとする態度を養うことを主たる目的としている。他教科で学習した生け花体験や、水墨画作成、本校の特徴でもある和室の観察を通して、室町文化が自分たちの生活の身近にあることを理解し、主体的に歴史を調べ、表現しようとする力を育てるため、知識の習得と表現力の育成のバランスが取れるよう工夫した。

児童の実態

学力の個人差は大きいですが、学習課題に意欲的に取り組むことができる。課題解決につながる話し合いや調べ活動は苦手意識が強く、表現力にやや課題が残る。歴史学習に魅力を感じているが、その必要性や有用性を感じる機会が少なく、社会科の学習を「覚える」教科として捉えている児童が多い。自分たちの生活が歴史の上に存在しているという歴史の存在意義を考える児童は少ない。

単元を通して育成したい子どもの姿

歴史への興味・関心を高め、楽しく歴史を学びながら、主体的に表現・発信する活動の中で、身近にある歴史に触れたり、体験したりして、歴史は自分の生活の一部であり、歴史はストーリーではなくルーツであると考えられるよう工夫し、歴史を学ぶ意義を捉えさせる。

「単元構成の工夫」における ○成果と●課題


- 歴史学習全般に言えることだが、45分間で取り扱う知識は大変量が多い。そこで指導内容を精選して、一斉指導後に児童が関心の高い題材を選んで調査活動ができるようにした。今回は動画を作成することによって、主体的に調査活動をするようになったり、協働的に表現活動を展開できるようになったりした。
- 本単元は、今なお身近に残る室町文化を取り上げるため、歴史をルーツと捉えることが他の単元よりもしやすい。単なる知識・技能の習得に終始せず、単元を通して歴史が自分たちの生活に大きく関わっていることを取り上げ、歴史を学ぶ意義につなげていくような問いや活動の設定を綿密に練り上げていきたい。

学習計画（総時数4時間）

時	場面	学習活動（夢中になって学んでいる姿）	資質・能力
1	見通す	銀閣の様子を見たり、金閣と比べたりしながら話し合い、学習問題をつくる。架空の動画チャンネルで身近な歴史について紹介する動画を作成するという見通しをもつ。	京都の室町に幕府がおかれた頃の代表的な建造物や絵画などに着眼して課題を見出すことができる。（思考・判断・表現力）
2	習得する 考える 対話する	水墨画（図画工作科）、茶の湯（家庭科）、生け花（総合的な学習の時間）の体験を通して、室町時代に生まれた文化が自分たちの生活のルーツになっていることを調べ、動画で紹介する。	必要な情報を集め、読み取り、水墨画や茶の湯などの室町時代の文化の特色について理解することができる。（知識・技能）
3	習得する 考える 対話する	能・狂言・田楽などの芸能文化の鑑賞を通して、その芸能の意味や込められた思いなどを理解し、現在の生活との関わりを捉え、動画で紹介する。	必要な情報を集め、読み取り、能や狂言などの室町時代の文化の特色について理解することができる。（知識・技能）
4 (本時)	対話する 振り返る	学習問題について調べてきたことを整理し、室町時代の文化を、動画で紹介する活動を行う。	学習したことをもとに、室町時代に生まれた文化や習慣と今日の自分たちの生活との関わりを考える。（主体的に学習に取り組む態度）

II コーディネートの工夫

<本時のねらい> 学習したことをもとに、室町時代に生まれた文化と自分たちの生活の関わりを考え、表現する。

	学習活動・内容(T主な発問C児童の反応)	<コーディネートの実際>	<コーディネートの改善>
課題設定	<p>1 本時の学習課題を捉える。</p> <p>(1) 既習事項をふり返る。</p> <p>(2) 銀閣寺の書院造の写真と和室の写真の共通点を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>東和小学校に残る室町文化をストーリーチャンネルで伝えよう。</p> </div> <p>(3) 本時の活動内容を説明する。</p>	<p>2 発信内容を検討する。</p> <p>T:何をテーマにするのか決まりましたか?</p> <p>C:ふすまにします。あと、墨絵。</p> <p>T:和室のふすまを見ましたか?墨絵はないよ。</p> <p>C:そうなんですか?じゃあ、やめよう。</p> <p>T:他に墨絵を選んだ人いますか?</p> <p>T:実際の墨絵はないけど、どうやって紹介する?。</p> <p>C:資料集のこの絵を使って紹介します。</p> <p>C:みなさんの家にはありませんか?って問いかけます。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>個人活動(自力解決)での原稿作成だったため、原稿を完成させることが困難だった児童もいた。</p> </div>	<p>2 発信内容を検討する。</p> <p>T:同じテーマを選んだ人同士で集まり、互いに協力して原稿を作ってみましょう。</p> <p>C:学校のふすまに墨絵はないけど、どうしよう?</p> <p>C:家のふすまには墨絵があることを伝えよう。</p> <p>C:床の間は書院造りが始まり、ということだけでなく他に紹介できることはないかな。</p> <p>C:この前体験した生け花が床の間に花を飾るために発展したって講師の先生が言っていたね。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ペアやグループという他の形態を取ることで、話し合いも深まり、根拠を明らかにした説明が可能となる。</p> </div>
課題解決	<p>2 発信内容を検討する。</p> <p>(1) 動画内容と原稿を検討する。</p> <p>C:水墨画を紹介しよう。</p> <p>C:畳が室町時代から敷かれることになった。</p> <p>C:床の間も紹介しよう。</p> <p>(2) 動画を撮影する。</p> <p>*タブレット端末使用*個人・ペア</p> <p>(3) 学習支援アプリに貼り付ける。</p> <p>3 作成した動画をもとに交流する。</p> <p>(1) 自分が調べた室町文化を紹介し、交流し合う。</p> <p>(2) 室町文化が今に伝わっていること、自分たちの生活に関わっていることについて話し合う。</p>	<p>3 作成した動画をもとに交流する。</p> <p>◆友達の動画を自由に視聴し合う場面</p> <p>T:おすすめの友だちのレポートはありますか?</p> <p>T:自分が選んだ内容以外の人のおすすめは?</p> <p>*児童から推薦してもらってモニターで3人視聴した。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>動画を互いに見合う時間と、交流を深める教師のコーディネートが不十分であった。</p> </div>	<p>3 作成した動画をもとに交流する。</p> <p>T:どのような室町文化が身近にありましたか?</p> <p>C:和室にたたみがしきつめてありました。室町時代から続く文化だと初めて知りました。</p> <p>C:和室のふすまをレポートしました。学校には水墨画が描かれていなかったけど、私の家のふすまには水墨画が描かれています。</p> <p>T:今の私たちの生活は歴史の上に成り立っているのですね。</p> <p>C:学校の和室にも自分の家の和室にも床の間があります。違い棚もあり、書院造りが今に残っていることが分かりました。</p> <p>C:室町時代の文化は今の「日本らしさ」の基であると分かりました。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>十分に時間を確保し、話し合いを充実させることで、歴史を学ぶ意義に気付かせ、価値を付けることができる。</p> </div>
振り返り	<p>4 本時をふりかえる。</p> <p>○ さらに伝えたいことは何かを考え、原稿を作成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>身近なところにも室町文化が残っている。</p> <p>歴史は私たちの生活に根付いている。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「コーディネートの工夫」における ○成果と●課題</p> <p>○ ヒストリーチャンネルという番組のレポーターとして歴史的事象を紹介するという場面設定は、動画世代の児童に興味深く、主体的に他者と関わり合いながら学習を進めることができた。また、歴史が身近にあるということに気付いたという授業後の感想も多かった。</p> <p>● タブレット端末をさらに有効に活用することによって、もっと互いに鑑賞したり、意見を述べたりする交流の時間を確保することができ、内容に深みを持たせることができると思う。今後も授業者が児童の意見や考えを引き出す問いかけを工夫していきたい。</p> </div>	